



お金持ちの人にとっては、そこには消費税はかかりませんから、わずかの負担で済むわけです。消費税は、収入の少ない方ほど負担が重くなる税金だ、ということです。

◆現在の5%でも大変なのに、10%になったら、暮らしが破綻してしまうことは火を見るより明らかではないでしょうか。

◆それでは、消費税に頼らずに、社会保障と財政を立て直す道はあるのか？—あります。

◆私たちは、具体的な提言をまとめ発表しました。今、パンフレットを印刷中ですので詳しくはそちらをご覧くださいと思うのですが、まず第一段階では、徹底して税金の無駄遣いをなくし、大企業や大金持ちへの減税を見直すことなどによって、財源を生み出す。

◆第二段階では、税金の負担能力に応じて税金を集めることによって、社会保障と財政を立て直す、という提案になっています。

◆2月9日の衆議院予算委員会で、志位委員長が野田首相にこの提言書を手渡しました。一ヵ月後に、野田首相が共産党控え室に挨拶にみえた時に「読んでいただけましたか？」と聞きますと、「まだです」と言うんですね。

◆さらにその一ヵ月後に予算が成立した時に首相が来たのですが、どうやら読んだような様子ではないので、もう聞きませんでしたけどね。

◆衆議院予算委員会の中井委員長は、「そういえば、志位さんが、消費税やらずに社会保障支える、という提案出していたよね。あれ、予算委員会のメンバーに配ってくれないかな。とくに与党・民主党の議員にはちゃんと渡して、勉強させたいから」というので、配ったのですが、その後の議論を聞いていると、読んでいない様子はありませんね。関心さないんですね。

◆こうした不真面目さとは逆に、私たちと立場が違うけれども、真面目に提言を読んでいた方からは、多くの

共感の声が寄せられています。

◆こうした声を大きく広げて、世論の力で、消費税にたよらずに、社会保障と財政を立て直す道を堂々と歩いていこうではありませんか。」



吉良よし子・参院東京選挙区予定候補もお話をしました。



★次回の無料法律相談は5月8日（火）午後1時半からです。電話でお申し込みください。

・鈴木 080-1058-9450 ・倉田 080-3460-0064 まで。